

# 派遣報告書

平成28年4月7日

倉吉市議会議長 様

倉吉市議会  
(代表) 議員

中野 隆



次のとおり行政視察・調査を行ったので、その結果を報告します。

## 記

- 1 派遣期間 平成28年3月28日(月) から平成28年3月30日(水) まで
- 2 派遣先 白鳥橋銀座商店街, 中延商店街, 十条銀座商店街
- 3 視察(調査)議員名 中野隆
- 4 面会者 大和和道様, 横山俊明様, 榎本龍治様
- 5 派遣目的 中心市街地活性化の取組みについて
- 6 視察の経過及び感想  
別紙
- 7 添付書類  
(1) 派遣の目的  
(2) 名刺

要した経費: | 人合計 77,990 円

## 派遣の目的

中心市街地活性化の取り組みについて

東京都墨田区京島 向島橋銀座商店街

東京都品川区東中延 中延商店街

東京都北区十条仲原 十条銀座商店街

## 視察の経過及び感想

3月28日 倉吉市 → 東京都

東京都墨田区京島 向島橋銀座商店街（下町人情キラキラ橋商店街）

対応者 事務局長 大和和道（千葉商科大学商学研究科客員教授）

## 歴史

昭和 2年（1927年）ころには小売店が集まり、商店街を形成していた。

昭和20年（1945年）焼夷弾により墨田区は甚大な被害を受けた。

京島地区は大空襲の被害を奇跡的に免れた。

昭和30年（1955年）

～

昭和60年（1985年）高度経済成長期を経てバブル景気へと向かう。

平成元年 カラー舗装完成の際、愛称を公募し

「下町人情キラキラ橋商店街」と決まる。

利用者は地元住民

キラキラ橋商店街がある「京島地区」の特徴

- ・木造住宅、長屋が多い
- ・狭く入り組んだ「路地」が多い

そのため

震災に弱い、震災前の神戸市長田区と似ている

防災対策 自助（60%）、共助（28%）公助（12%）が重要

## 1. 地域に根差した商店街活動のあり方

事業の3本柱

- ・販促事業 朝市／びっくら市／中元・歳末福引大売出し
- ・コミュニティー事業 夜市／手作り七夕まつり／ワイワイウィーク
- ・つまみぐいウォーク

最大の課題

日曜定休が多いという日曜営業問題。

対策

日曜日の積極営業

外部団体との協力（千葉商科大学の学生など）

大学生が参加すると単位になるため、ただ単なるボランティアではなく  
ウィン・ウインの関係を築くことができる。

地域団体との協力（帰ってきたキューピッドガールズなど）

キューピッドガールズ 地元アイドル（現在は地元のヤンママ）

## 2. 東京スカイツリーの開業と観光を意識した商店街の取り組み

観光を意識した商店街の取り組み

・誕生！商店街のアイドル キューピッドガールズ

・歓迎！ちょっと休憩 お休み処 橋館

「商店街事務所」と「おやすみ処」を兼ねている。

女性用専用トイレを完備

・開運！新名所 「たまる」稲荷神社

田丸稲荷神社 墨田区内循環バスの初めの方の停留所がある

・IT活用！ 商店街もSNSで情報発信

商店街は地域コミュニティの「担い手」

①ハート → ②ソフト → ③ハード

が重要である。

たいへん丁寧な説明を受けた。

多くの事業がハードから入り補助金が無くなれば、事業が終わってしまっている。

「行政の予算が有るから事業をやる」では生きた事業になっていない。 必要性が有る事業に補助金が出る仕組みに成っていない事が問題だと思う。

決して東京だからできているというものではなく、指導的立場の人の情熱と地元の人の情熱が有ってこそ、活性化が進むと感じた。



3月29日 東京都品川区東中延 中延商店街  
対応者 理事長 横山敏明

組合 全員が組合に入る。

出資金 12万円+手数料2万円

年会費 間口によってかかる

休店の場合は大家が支払いをする。そのために、大家も店子を探すとこのインセンティブが働く。

4ブロックあり、役員は15人

青年部から理事に上がってきており、や糧への移行がうまくいっている。

特徴

イベントを多くやる。年に5回。

2月 駅弁大会

8月 子どもランド 昼に夜店のようなものを100円券で実施。

9月 「青森のねぶた」、「高知のよさこい」と隔年で実施している。

青森のねぶたが終わった後に、青森県黒石市から持ってきてもらっている。ねぶたは道路幅6mに対して4mと道幅に合わせて作ってもらっている。(1日のみ、その次の日には壊している。)

年2回の売り出し

## 七夕サマーセール、歳末大売り出し

### 町のお助け隊コンシェルジュ

退職した人は独自の技術を持っている人が多いため、その技術を生かして高齢世帯などの困りごとを助ける。

- ・庭木の剪定、枝払い、除草
- ・エアコン、換気扇の掃除
- ・台所、浴室、トイレの掃除
- ・襖、障子、クロスの張替え

など（倉吉市でいえば、シルバー人材センターのような仕事）

- ・中延名産品の販売 日本ミツバチのはちみつ、蜂蜜入り生キャラメル

### 感想

商店街のお店はみな組合員で、組合費を払う。お店が無くなれば大家が払う事になるため、空き店舗がほとんど無い。以前から続けている制度であり他の地域には、あまり無いと思う。

説明していた横山理事長は他の地域では組合費を払わないという話もあり大変だという事を聞いている。と言っておられた。

ここもよく頑張っておられる。



3月30日 東京都北区十条仲原 十条銀座商店街

対応者 事務局長 榎本龍治

## 歴史

昭和 5年ころ 銀座1丁目会、銀座会、昭和社会の3商店会で組織される。  
昭和13年 東京十条銀座商店街商業組合の設立認可を受ける。  
昭和21年 東京十条銀座商店街復興施設組合を設立  
昭和40年 十条銀座商店街会館を設立  
昭和52年 アーケード（本通り）、大理石歩道完成  
平成 6年 Jスタンプ事業スタート  
平成15年 十条銀座まちづくり憲章を策定  
平成17年 アーケード内に防犯カメラ30台設置

組合 加盟店 約200店舗

組合事務所 パチンコ店の2階にある。

組合の建物をパチンコ店とアパートとして貸しており収入を得ている。

## 特徴

商店街憲章を作り、憲章の理念、基本方針が明確にされている。

JR埼京線のすぐ近くにあり、一本の通りだけでなく枝が伸びている。

何度も来てもらえる商店街を目指している。

ホームページがうまくできており、商店名、商品が良く分かるようになっている。

Jスタンプ 十条商店街だけで使える第2の通貨。

100円使うとJスタンプが1枚もらえる。

選挙で投票し、証明書をもらおうと証明書と引き換えにJスタンプをもらえる。

## 感想

駅から近くて何でもそろっているという感じの、比較的大きな商店街である。地物の人に何度も来てもらえるという事は重要であるが、それだけでなく、地域外の人にも何度も来てもらえる商店街にしようとしている、意気込みが有る。

頑張っているいろいろな事業を行っていると感じている。

投票に行けばスタンプがもらえるという事は興味ある取り組みだと思う。

地域通貨の取り組みも面白い。



成果の出ているところは、いろんな人が頑張っている、というのが実態だと思います。  
今回、視察した商店街はとても勉強になった。